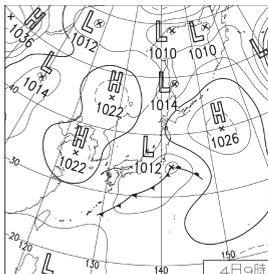


# 日々の天気図

— No. 86

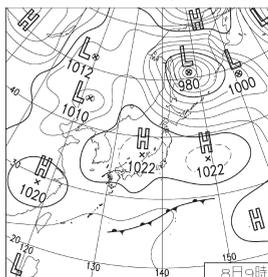
2009年3月

- 13日～15日、低気圧の影響で北海道えりも岬36.3 m/s、島根県石見空港33.4 m/sの最大瞬間風速。
- 18日～20日、東北以南日本海側を中心に顕著な高湿。
- 22日、低気圧と前線の影響で鹿児島県錦江町田代77.5 mm/1h、指宿市70 mm/1h、枕崎市61 mm/1h。(気象庁予報部予報課)



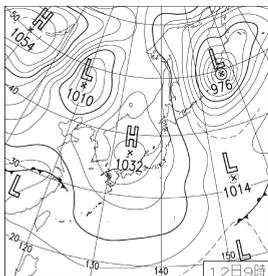
## 4日(水) 天気回復の兆し

本州の南岸を低気圧が東北東進、東日本は引き続き曇りや雨のぐずついた天気だが、西日本から天気次第の回復。気温も上がり、中国では最高気温が前日より5～8℃高くなった。



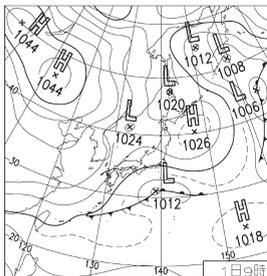
## 8日(日) 帯状高気圧

東西に帯状に連なった高気圧が日本海から東北を覆い、北日本を中心に概ね晴れ。一方、南西諸島や関東では前線や低気圧の影響で雨や曇り。



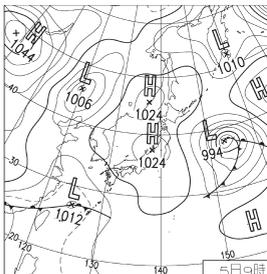
## 12日(木) 移動性高気圧圏内

日本海の移動性高気圧に覆われ、北日本の日本海側を除いて全国的に概ね晴れ。北～東日本ははじめ北よりの強い風が残る。西日本は気圧の谷が接近し、次第に薄雲が広がる。



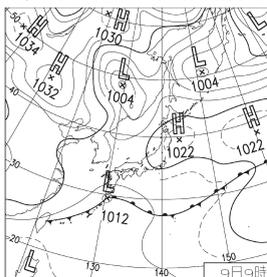
## 1日(日) 関東南部 寒い一日

本州は概ね晴れたが、北海道の一部は気圧の谷の影響で雪。関東と南西諸島では前線や低気圧の影響で曇りや雨。関東南部では寒く、千葉県勝浦市の最高気温7.2℃は真冬並み。



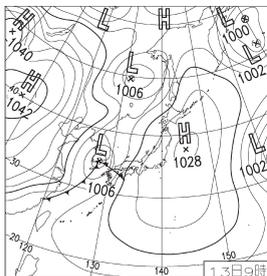
## 5日(木) つかの間の春の日射し

移動性高気圧に覆われ朝のうちは全国的に広く晴れるが、東シナ海の低気圧が接近し、九州は昼頃から、夜には中国、四国で雨。沖縄は終日雨で、うるま市宮城島で46.5 mm/1h。



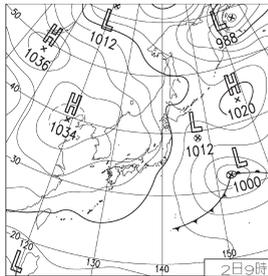
## 9日(月) 気圧の谷の接近

本州の南海上を前線を伴った低気圧が東北東進。北日本を中心にはじめ晴れだが沿海州から低気圧が接近し天気下り坂。日本列島は南北にのびる気圧の谷に入った。



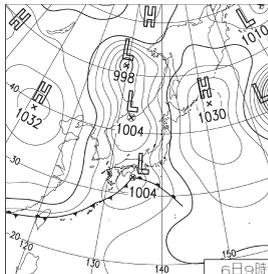
## 13日(金) 福岡でサクラ開花

低気圧が発達しながら日本海を北東に進んだ。この低気圧に向かって、南から暖かい空気が流入。福岡では4月上旬並みの気温となり、今年一番早いサクラの開花となった。



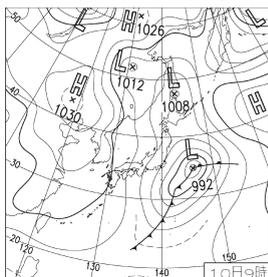
## 2日(月) 冬型の気圧配置

北～西日本は日本海側を中心に曇りや雪や雨。太平洋側は晴れたが、南西諸島は高気圧の縁に沿う湿った東風の影響で曇りや雨。九州は気圧の谷が接近し次第に曇り。



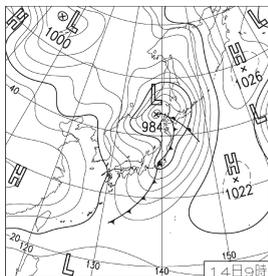
## 6日(金) 全国的に雨

日本海と本州南岸を前線伴った低気圧が北東進。全国的に雨。鹿児島県沖永良部で43 mm/1hの激しい雨。また北海道では暴風の所も。斜里町宇登呂で日最大瞬間風速32.5 m/s。



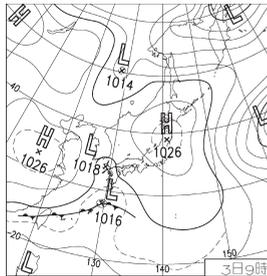
## 10日(火) 日中は春の陽気

日本付近は冬型の気圧配置に。日中は北海道や日本海側の地域は曇りや雨や雪だが、その他は晴れて最高気温は全国的に下旬～4月上旬並。大分市、長崎県五島市で黄砂観測。



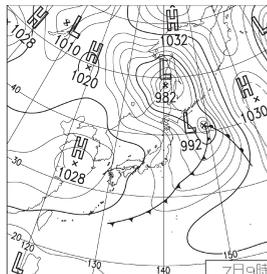
## 14日(土) 列島大荒れ

前線を伴った低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海へ。寒冷前線が本州付近を縦断し、各地で暴風。島根県では家屋の被害。広い範囲で交通機関に連休や遅れが出た。



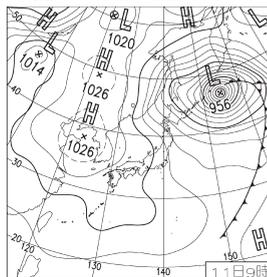
## 3日(火) 東～西日本は雪や雨

低気圧を含む気圧の谷の影響で西日本では雪や雨。関東でも午後から夜にかけて雪や雨。高気圧に覆われた東北以北では晴れ。気温は低く、関東の最高気温は真冬並み。



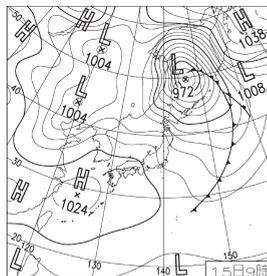
## 7日(土) 北日本大荒れ

低気圧が発達して北日本は大荒れ。日本海側を中心に曇りや雪。西日本と東海、関東は西から高気圧が張り出し晴れ。北陸は曇りや雨。未明に石川県輪島市で直径8 mmのひょう。



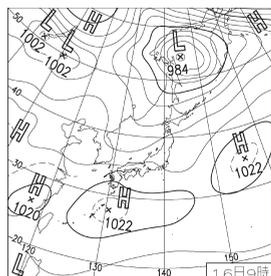
## 11日(水) 北日本は冬の名残

北日本や北陸は冬型の気圧配置で雪や曇りで最高気温は1月下旬～2月下旬並と冷え込む。関東以南の太平洋側は晴れや曇り。甲府市と山口県下関市でウグイスの初鳴。

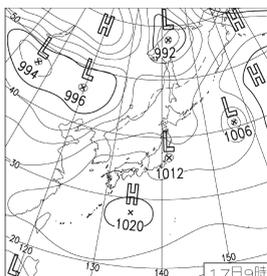


## 15日(日) 関東以西は行楽日和

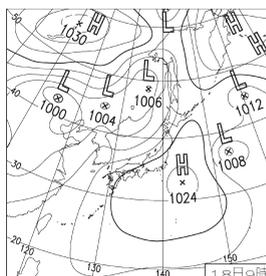
北日本は暴風や高波の影響が残るが、日本海側の雪は次第に弱まる。東～西日本は高気圧に覆われ、穏やかな日射しに恵まれる。北海道えりも岬で最大瞬間風速36.3 m/s。



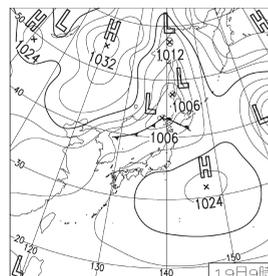
**16日(月)近畿～九州北部で黄砂**  
北日本は上空に寒気を持った気圧の谷が通過し、曇りや雨。北陸は午後から曇りて所々雨。東日本以西では高気圧に覆われ概ね晴れ。高知市、熊本市、宮崎市でサクラ開花。



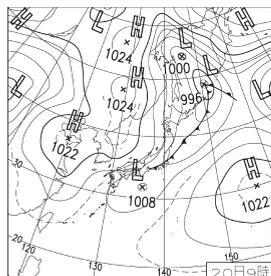
**17日(火)東北～九州で広く黄砂**  
上空に寒気を持った気圧の谷が通過。北日本～北陸は曇りや雨で、雷雨となった所も。未明に石川県輪島市で直径10 mmのひょうを観測。松山市と大分市でサクラ開花。



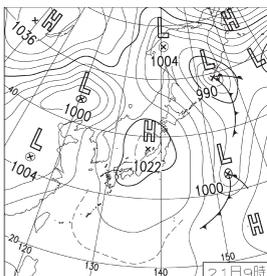
**18日(水)気温上昇**  
日本の東海上の高気圧に覆われ、北海道を除き概ね晴れ。最高気温は6月下旬並の所も。東北以南は広く黄砂を観測。岐阜市、山口県下関市、長崎県対馬市でサクラ開花。



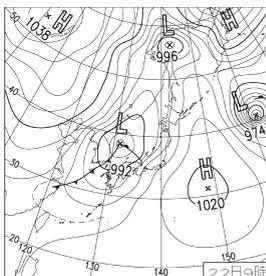
**19日(木)初夏の陽気**  
日本列島は東海上の高気圧に覆われ北日本と西日本の一部を除き初夏を思わせる陽気。静岡市、名古屋市、京都市、佐賀市、鹿児島市と広い範囲で相次いでサクラ開花。



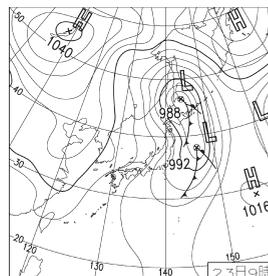
**20日(金)春分の日**  
日本付近を寒冷前線が通過、東日本中心に午前中雨。西日本は朝から、東日本も午後は晴れて気温上昇。鹿児島市の最高気温27.6℃は6月下旬並。甲府市、高松市でサクラ開花。



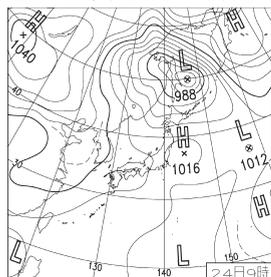
**21日(土)サクラ 関東に**  
全国的に移動性高気圧に覆われる。北日本の一部で雪の所を除き穏やかに晴れる。日中は4月上旬～5月中旬並の暖かさで、東京都、和歌山市、岡山市、長崎市でサクラ開花。



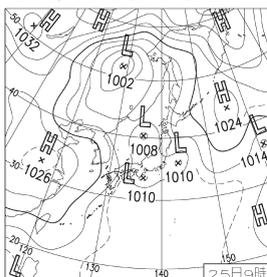
**22日(日)春の嵐**  
低気圧が発達しながら日本海を北東に進。東～西日本は南風が強く、四国や九州南部は暖かく湿った空気が流入し雨や雷雨。鹿児島県は錦江町田代77.5 mm/1hなど非常に激しい雨も。



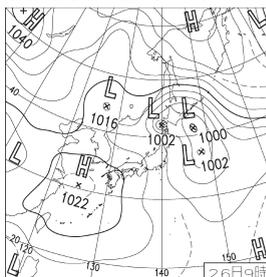
**23日(月)寒気南下**  
低気圧がオホーツク海と日本の東で発達。北日本中心に荒れた天気となり、最大瞬間風速が30 m/sを超えた所も。成田空港では、朝、貨物飛行機が着陸に失敗、炎上した。



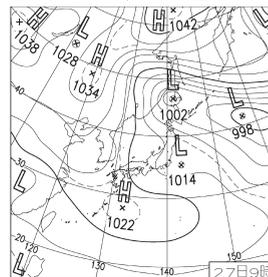
**24日(火)冬と春の共存**  
北日本は寒気の流入で雨や雪だが、東～西日本は移動性高気圧に覆われ概ね晴れや曇りの穏やかな天気。大阪市では年より6日早くサクラ開花。



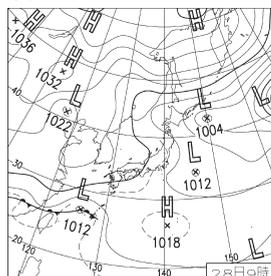
**25日(水)本州は冬の空気**  
日本付近には低気圧。北日本は雪、東日本は雨。寒気の影響で日中も気温低く、東北太平洋側や関東、中国の最高気温は真冬並の所も。埼玉県熊谷市、京都府舞鶴市でサクラ開花。



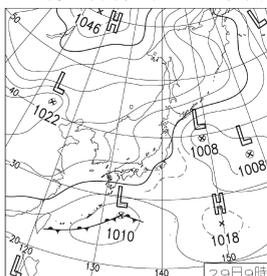
**26日(木)東北以南は寒の戻り**  
寒気の流入で、西日本の最低気温は2月上旬並に冷え込む。北日本の一部で雪、北陸～近畿の日本海側は雨。関東や西日本は晴れや曇り。サクラの開花は宇都宮市まで北上。



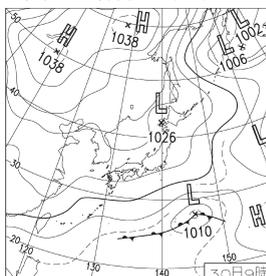
**27日(金)水戸市 サクラ開花**  
北海道付近に低気圧が停滞。引き続き寒気が流入し日本海側は雪や雨。午後は気圧の谷が通過。大気の状態が不安定となり、太平洋側も所々でにわか雨。



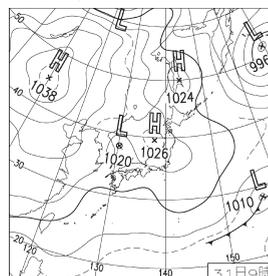
**28日(土)ぐずついた天気**  
日本付近は気圧の谷や東シナ海を東に進む低気圧の影響で、中部～東海を除き曇りが多く、東北、九州、沖縄で雨。気温は全般に平年より低めながら、彦根でサクラ開花。



**29日(日)春は一進一退**  
北日本は寒気の通り道で引き続き雨や雪。西日本も日本の南海上を東進する低気圧の影響で九州～南西諸島は曇りや雨。最高気温は上がりませんが全般に平年よりやや低め。



**30日(月)本州は穏やかな晴れ**  
日本付近は、大陸の高気圧に覆われ、本州中心に晴れ間が広がる。九州南部は曇りや雨で、最高気温は平年より5～6℃低く真冬並。前橋市、富山市でサクラ開花。

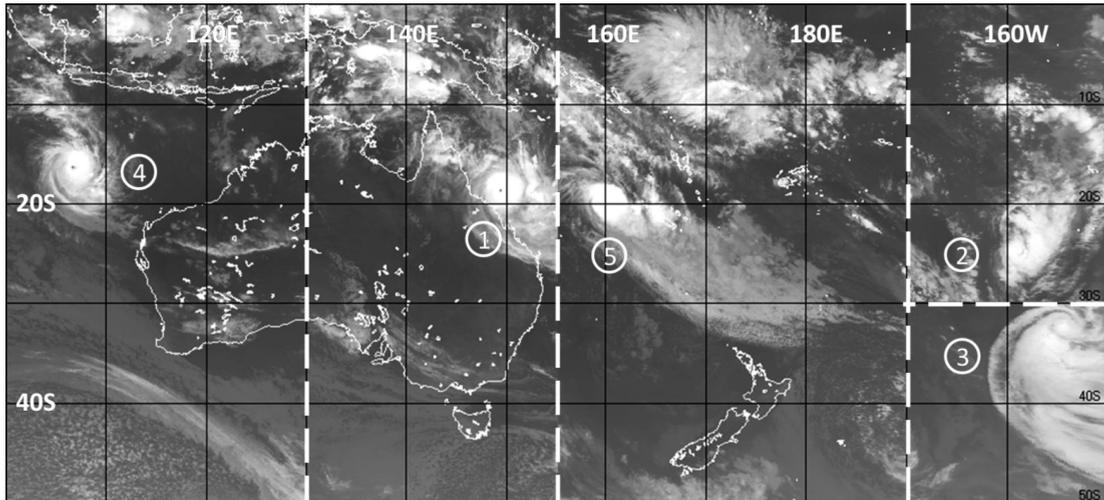


**31日(火)甲府市でサクラ満開**  
気圧の谷の影響で北海道は曇りや雪、東北北部の一部で雨。その他は高気圧に覆われ概ね晴れたが、高気圧の縁にあたる九州南部で雨、関東太平洋側～四国で曇り。



## 今月のひまわり画像—2009年3月

### 南半球の「Tropical Cyclone」



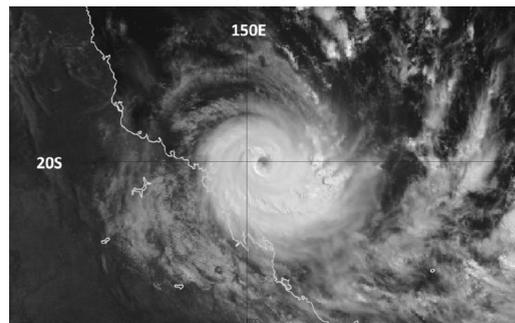
第1図 2009年3月に南半球（ひまわり6号の観測範囲内）で発生した Tropical Cyclone の赤外画像合成図。図中白の破線が画像を合成した部分。

南半球の季節は北半球とは半年ずれている。南半球の3月は北半球の夏の終わりから秋の初めにあたり、Tropical Cyclone（トロピカルサイクロン：以下TCとする）の発生の最盛期でもある。今年の3月も「ひまわり6号」の観測範囲内の南半球で5個のTCが発生した（ここでは日本の「台風（最大風速34 kt以上）」に相当する熱帯低気圧を対象とした。また南半球のTCは発生場所によりサイクロンやトロピカルストームと呼ばれるがここでは全てTCと表記する）。

第1図は3月に発生した5個のTCの赤外画像を合成した図で、発生順に① Hamish（5日21時）、② Joni（11日21時）、③ Ken（17日15時）、④ Ilsa（18日09時）、⑤ Jasper（24日03時）である（括弧内は各担当国の台風センターの速報解析の発生日時（日本時間））。

このうち最も発達したのは①のHamishで、発生からわずか2日後の8日03時（第1図の画像）には中心気圧925 hPa、最大風速115 kt（60 m/s）に発達した。

第2図に最盛期（8日09時）のHamishの可視画像



第2図 3月8日09時のHamishの可視画像。

像を示す。明瞭な眼の形成から発達の様子は推定できるが、北半球の「台風」とは異なり「時計まわり」に対流雲の渦が雲域の外側から中心に向かって巻き込んでおり、北半球では見慣れない画像である。

「台風」は、今年は3月まではまだ発生していないが、南半球の各担当国の台風センターは大忙しだったと思われる。

（気象庁予報部予報課 西村修司）